

# 広報 いまり

昭和49年8月19日 第3種郵便物認可 毎月1日発行 定価1部24円 昭和56年6月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No328

夏も近づく八十八夜  
野にも山にも若葉が茂り……  
子供たちの白い手に  
収穫の喜びが光ります。

(写真は、波多津中学校の茶摘み風景)

'56

6月

# 豪雨の中を防災パトロール

## 13か所の危険地域を視察

6月は梅雨シーズン——  
 長雨や集中豪雨などによって  
 地盤がゆるみ、がけ崩れや地す  
 べりが発生しやすくなります。  
 そこで市では、土木事務所、  
 農林事務所、警察など防災関係



▲ 大久保の小岩2坑ボタ山の改修工事

の各機関の協力を得て5月11日  
 12日の2日間の日程で危険箇所  
 を視察する防災パトロールを実  
 施しました。

このパトロールは、災害発生  
 の恐れのある河川やため池、急  
 傾斜地などの災害危険  
 箇所の防災対策をたて  
 るためのものであり、  
 特に危険度の高い13か  
 所について現地視察を  
 行ったものです。

11日は折から大雨洪水警報の出る悪天候の中を文字どおりの防災パトロールとなり現地では、雨の中を直接、地元の人から危険状態の詳細を聞き、山代西小学校グラウンド横の地すべり区域をかわきりに東山代町の久保や滝川内の鉾害危険箇所など防災工事の実態についても視察しまし

### 災害危険箇所視察地

1. 山代西小地すべり(山代町西分)
2. 城地区急傾斜地(山代町城)
3. 旧小岩2坑ボタ山(東山代町久保)
4. 親種寺裏山地すべり( 〃 )
5. 忽座地区鉾害(東山代町滝川内)
6. 川内ボタ山 (二里町川内)
7. 塩屋急傾斜地(黒川町塩屋)
8. 内野地すべり(波多津町内野)
9. 原屋敷地すべり(南波多町原屋敷)
10. 山中溜池 (松浦町金石原)
11. 梅岩地すべり(松浦町梅岩)
12. 石坂部落・上鶴橋(大川町駒鳴)
13. 立川ボタ山(大川町立川)

た。市内には、災害危険箇所と予想されている地すべり危険地域が炭鉱時代のボタ山などを含め約90か所、急傾斜地域が約250か所あり、このほかにも水害の多発地帯や堤防決壊の恐れがある箇所が各所に点在しています。市はこれまでも緊急度の高い所から防災工事を行い、解消に努めてきました。一方、私たち自身も普段から、急時の場合の準備や心がけが必要です。

「やさしく」とは漢字で書けば「易しく」か「優しく」で、その反対語は「難しく」か「強く」となって「安全」の反対の「無謀」とはどちらもどうしてもつながらない。

第一に「やさしく走ろう」といっても、それはどう走るのが、速度を落してのことならば「ゆっくり走ろう」が分り易いし、むつかしくなく気軽にいっても注意を怠るわけにはゆかない。

「やさしく」とは一体どんな漢字を仮名にしたのかおそらく「安全」の「安」が「やすし」というところからきたのではないかと推測するが、「安」を「やすし」と読ませたら、反対語は「高い」になってなお意味がわからなくなる。

標語を募集するとき新しいものを考えすぎ、奇抜を出しすぎると、かえって本意を失うことになりかねない。

なにかわからんものを出してなんだろうと考えさせるコマーションもあるとかで、「やさしく」の言葉の意味を「安全運転」とどう関連させるか、このように考えさせるところに意味があるのかも知れない。(竹)

# ふるさとへ錦を飾る名画17点

## 故山口猛彦画伯が市へ寄贈

大川町川西出身の洋画家、故山口猛彦画伯の油絵17点が、このたび遺族から伊万里市へ寄贈されました。

市教育委員会では、この作品を一同に展示する山口猛彦展を5月22日から25日の4日間、中央公民館で開催し、地元大川町をはじめとする市民や愛好者の好評を博しました。

山口画伯は、明治36年大川町の医師山口貞一氏の三男として生まれ、旧制佐中を卒業し東京美術学校に入学、洋画界の巨匠藤島武二画伯に師事されました。

昭和8年30歳で「黒い風景」

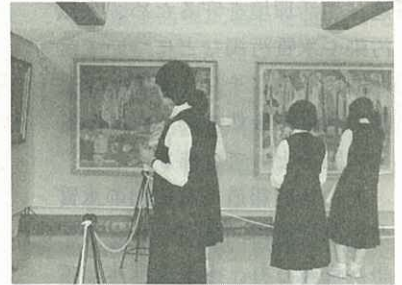
を描き帝展に初入選、以来昭和24年に光風会特選、昭和26年には「黒い椅子の部屋」で日展特選となるなど、目覚ましい活躍をされました。また永年光風会に属し、日展審査員を努めるなど、終始日本の洋画壇の中心になって作品を発表され、昭和54年に肝ガンのため、今後の活躍を惜しまれながら逝去されました。

その画風は、明るい色彩に富み、画面に満ちた健全な趣きは、我々を魅了して止みません。

日本画壇に大きな足跡を残した山口画伯の純粋な芸術は、郷土の誇りです。

このため、広報でも同画伯の作品を取りあげ、「広報ギャラリー」として連載しより多くの市民に知らせていきたいと考えています。

▲アッシジ風景(1963年)



▲愛好者で賑わった展覧会場

### ●寄贈された作品名

(製作)	(画題)	(出品展)
1947年	樹	不明
1953年	並木	光風会展
1960年	漁船	〃
1962年	坂道	〃
1963年	アッシジ風景	日展
1964年	カーニユの秋	光風会展
1965年	漁港	日展
1966年	果物屋	光風会展
1967年	海辺村落	日展
1969年	秋	光風会展
1970年	晩秋	日展
1970年	公園	個展
1971年	漁港	光風会展
1973年	城門の見える風景	個展
1973年	丘のある街	〃
1976年	漁港	日展
1978年	ピレアシユの秋	光風会展

夏目漱石の「わが輩は猫である」という小説によれば、いまは猫がねずみをとるのを忘れ、借金とりが借金の催促を忘れる季節だそうであるが、ねむけさましの頭のレクリエーションの一つ皆さんにも考えて貰いたいことがある。

それは東京都が春の交通安全運動に採用した標語で「やさしく走ろう」とうきょうと」と車にも看板にも書かれているのを見て私は甚だ奇異に感じたからである。

東京都は日本一の知能が集約されたところで、そこで採用されたのだから間違いのある筈はないと思われるが、どうしても疑問が解けないので提起することにした。

交通安全運動では安全運転が目標で、日本語として「やさしく」という言葉からはどうしても「安全」につながりにくい。



## 上水道の水質は心配ありません

### 家庭には厳重なチェックをして給水

市は市民の皆さんの健康で快適な生活環境を守るため、大気汚染や水質汚濁などについて定期的に厳重なチェックをし、公害の発生を未然に防ぐための監視体制をとっています。

先の新聞報道で有田川の水質が規制値を上回っているとの記事が掲載され、下流で取水して

いる市の水道水はだいじょうぶだろうかと心配しておられるかたがあるかも知れませんが市水道部では取水した水を沈殿、ろ過、殺菌などの過程で十分に水質検査したのち家庭へ給水していますからまったく心配ありません。

また、公害対策室でも二里町長井手橋下で定期的な水質検査をしています。しかし、窯業や畜産関係の排水などの問題もあるため、市は上流の有田・西有田町に対策協議会の設置を働きかけるとともに、県や保健所、土木事務所などの指導機関に対し、汚濁防止についての行政指導を強くするように申し入れました。

### 6月の市民会館行事予定

- 毎週金曜 免許証更新時講習  
受付9時30分・12時30分
- 10日(水)9時～14時  
銃・狩猟講習会
- 11日(木)9時～17時  
全国安全週間説明会
- 13日(土)13時30分～17時  
講演会「子供の絵を見るお話」
- 24・25日 18時～20時30分  
点訳講習(福祉事務所)

### 地区別飲酒運転検挙者数

(S56.4.30 現在伊万里警察署調)

地区	1月～3月	4月	累計
伊万里	1	0	1
大坪	6	0	6
牧島	1	1	2
立花	4	4	8
大川内	1	2	3
黒川	3	1	4
波多津	0	0	0
南波多	2	0	2
大川	1	0	1
松浦	2	0	2
二里	3	0	3
東山代	5	1	6
山代	7	4	11
(市外)	15	5	20
計	51人	18人	69人

## 市の人口

(5月1日現在)  
 総人口 61,245人(-46)  
 男 29,053人(-21)  
 女 32,192人(-25)  
 世帯数 16,848世帯(+56)  
 市民課調べ、( )は前月比



4月

貿易実績は7億6,267万円  
 で前月比51億1,858万円の減。

【輸出】 6,879万円

【輸入】 6億9,388万円

【船舶の入港】 10隻

(外国船のみ)

【寄港地上陸許可者数】

231人(フィリピン169人、  
 インドネシア39人、中国21人、  
 英国2人)

## 九州大会でみごと優勝

### 消防職員意見発表で消防本部の福田さん

市消防本部の福田忠成さんが九州地区消防職員の意見発表大会でみごと優勝し、全国大会でも入賞するなど優秀な成績をおさめました。

福田さんは消防本部総務課に勤務し、水難救助隊員としても訓練に励んでいます。昨年7月、自宅近くの川で幼児がおぼれているのを救助した経験をもとに発表の原稿をまとめました。

この時、おぼれた幼児を助けるため泳ぎながらマウスツーマウス法で人工呼吸をし、幼い生命を救ったのですが、人工呼吸



喜ぶの福田さん

法を知らない人や、不慣れた人ならこうまくいかななかったということで、人工呼吸の大切さをうたえています。

これから水の季節を迎え、水難事故が多くなります。万一に備え、水難救助法の講習会で人工呼吸を学んでおきましょう。

## 20年ぶりに行われた石つき音頭

東山代町大久保で録画どり

5月21日に東山代町大久保公民館の広場で20年ぶりに石つき音頭が行われ、サガテレビの録画撮りがありました。

これは明治の初め大久保の山田虎三さんが熊本鎮台から帰って広められたもの



### ▲復活した東山代町大久保の石つき音頭

といわれ、土木の基礎工事の際に移動やぐらの丸太を滑車を通して十数人が綱を引き、地固めをするもので、昭和34、35年頃まで行われていました。歌の文句は、那須の与一の扇の的、義経記、西鶴ものなど2、3日は歌える程あるそうです。揃いのハッピーに赤いはち巻き、音頭取が「今日も日もよし石つきはじめ」と唄い出し、全員が「ヨーイヨーイヨイヤナァ」のはやし

声。区長さんも無形文化財として残していきたいと話しておられました。

なお、5月31日にSTSの「ふるさと探訪」で放映がありました。

児童手当の現況届は忘れずに

提出期間6月15日～30日

児童手当を受給しているかたは6月15日から30日までの間に「児童手当現況届」を提出してください。

#### ▲受付場所

- ・市役所市民課（伊万里・大坪大川内・牧島地区）
- ・各出張所

#### ▲持参品 印鑑、健康保険証

※振込口座変更の場合は預金通帳、児童が市外在住の場合は本人の住民票、今年1月1日現在市外に住んでいたかたは55年分の所得証明書が必要です。

現況届の提出がないと手当が支給できない場合もあります。

### 点訳奉仕員講習会のお知らせ

佐賀県点字図書館と盲人連合会は目の不自由な方に読んでいただく本や文章の点訳奉仕員養成講習会を次のとおり開きます。

▲期 日 6月24日、25日

▲時 間 午後6時～8時30分

▲場 所 市民会館第2会議室

※受講の申し込みは市福祉事務所社会係(☎③2111内線261)へ。なお、点字図書館では毎月定例の点訳と朗読の講習会を行っていますので希望者は点字図書館(☎0952-26-0153)へお問い合わせください。

同和対策審議会答申は、部落差別を二つに分け、ひとつは心理的差別であり、ひとつは実態的差別であるという考え方をしています。心理的差別とは、差別意識のことですが、それが態度や行い、ことばや文字によって外に現れます。たとえば、昔の差別的な呼び名を必要もないのに意図的に使う場合

どにより結果的に劣悪な生活に追い込まれるなどがあげられます。以上のように心理的差別と実態的差別は、互いに原因となり結果となって、差別を深めたり新しく生みだしたりしてきました。

しかし今日、被差別部落の解放をめざす同和対策事業特別措置法の施行以来、全国的な理解と、

### 同和教育シリーズNo.14

## 心理的差別と実態的差別

がそれにあたります。また、被差別地区への偏見や迷信などによってのけものにしたり、就職や結婚阻害の要因とする場合もこれにあたります。一方、実態的差別とはこれら地域の生活環境上に現われた差別のことです。過去における被差別部落の実態は、消防車も入れられないような狭い道路、眼病や伝染病などが発生しやすい非衛生的な生活環境、あるいは天候や景気に左右されやすい不安定な職業な

運動体をはじめとする多くの人々のたゆまぬ努力によってその面影を一新するほどに改善されましたが、目に見えない心理的差別は、まだ多くの問題を残しております。

本市の同和問題への取りくみもこの二つの課題の解消をめざして一歩でも二歩でも、市民全体への理解と実践の深まりを願って、今日根気強い取りくみをすすめているところです。

(社会教育課)

# あなたと考える

# 暮らし

昭和42年の大水害からもう14年が過ぎ、あのいまわしい記憶も忘れられようとしています。しかし、昨年の冷夏、長雨の被害は、農作物や農用施設で60億円をこえ、農家へ大きな打撃を与えました。そしてまた梅雨シーズン……。そこで今回は、防災にスポットをあててみました。



▲ 42年の水害でつかった国道202号線

## 災害は忘れたころに

昨年の全国的な冷夏、長雨は県下でも各地に災害をもたらしました。これは百年に一度の異常気象といわれ、気象観測開始以来明治34・35年と1・2位を争う記録を残しました。

いつ、どこで、どんな被害をもたらすか予測がつきません。

いざというときに備えて、あ

なたの準備は万全ですか。

## ふだんから防災の準備を

6月1日～7日かけ崩れ防災週間



本市では、有田川や伊万里川の河川改修が行われており、大規模な災害こそありませんでしたが、それでも各所に被害があり、さらに日照時間の減少は農作物にも甚大な被害を与えました。

佐賀県・長崎県は「北松型地すべり」地帯といわれるように、地すべりの多い所です。さらに最近では宅地の需要増などからがけの近くや山地を開発した造成地に家を建てることが多く、ひとたびがけ崩れが発生すると大きな被害を招くことになりかねません。

元の皆さんから危険箇所の説明を受け、対策を検討しています。

また消防では、県下にさきかけて設置されているレインジャー部隊の訓練に余念がありません。しかし災害はいつも突発的に起ります。このため普段から緊急の場合の準備や心がけが必要です。また、万一災害が発生したら、最小の被害にくい止める助けあい求められます。

また産炭地特有のボタ流出や地すべりによる被害もでてきます。「災害は忘れたころにやってくる」と言われています。今年も災害の季節がやってきました。大雨、地すべり、台風など

これらの災害に備えて、市では防災パトロールを実施し、地

### 防災パトロール風景



▲ 滝川内の鉱害による地すべり



▲ 二里の川内ボタ山を眺む



▲ 原屋敷の家屋に迫

# と 防 災

キャンペーン  
シリーズ №33

## 災い転じて福となす

日 浦 英 之 さん (東山代町大久保)



去年の8月30日のことです。午前7時、山からどんどん水があふれているとの知らせが入りました。現場では、水が2か所から噴出しています。旧鉱道から流れ込んでいるに違いない。

このままではボタが泥流となり、下流の20戸が危い。まず水の流れを変えることが先決だ、と直感で思いました。しかし、地区の人だけでは人手が足りません。このとき、隣の福住の人達が土のう積みに駆けつけてくれました。やがて水の流れも変わり、下の家の人達も公民館に避難しました。婦人会では150食の炊き出しに追われ、消防団は道ばたにゴザを敷き、仮眠をとる状態です。これらの人々の昼夜の献身的な活動で、この災難を乗り切ることができました。

今度の災害を通して、地域で

の一致協力の姿勢が強まり、家族同志の交流が芽ばえるなど、今となってはまさに災い転じて福となした思いがします。これからもこの教訓を生かして心のかようまちにしていきたいと思います。

## 防災の心得

- ◆ 気象通報に注意すること。
- ◆ ツユ明けごろの雨は要注意。
- ◆ 河川の増水など早めに避難。
- ◆ 避難場所や道順を決めておく。
- ◆ 避難の前に火の始末。
- ◆ 屋根、雨樋、家屋の補強を。

◎ 家庭に防災器具を備えよう。  
懐中電燈、大工道具、携帯食料、炊事道具、応急医薬品、容器類、トランジスタラジオ

## 安心して眠れる対策を

野 中 邦 子 さん (大川町駒鳴)



私の住む駒鳴の石坂地区は松浦川が蛇行した湾曲部の内側にあるため、昔から洪水の常襲地帯で、これまでに何度も大水の被害を受けてきました。

そこで、私のうちでは毎年梅雨の時期になると、特に天気予報に注意し、大雨の予報が出ると農機具や肥料などを水にぬらさないように高い場所に移した

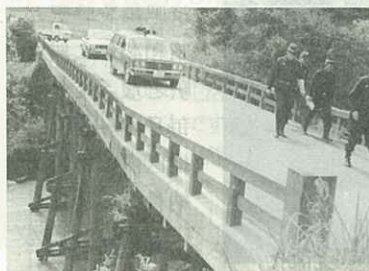
り、万一の場合にそなえての準備などで夜もおちおち眠れない事があります。

現在、松浦川の河川改修工事が行われており、これが完成すれば私達もひと安心ですが、工事が大幅に遅れているという事ですから、関係機関の努力によって、一日も早く工事が完成することを願っています。

▼ 松浦の山中溜池の漏水

▼ 駒鳴の危険橋りょう・上鶴橋

▼ 松浦川の河川改修工事現場



# ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

その29

## 憩の家に生け花を

お年寄りの慰めにと久原の石川さん

昨年、4月に完成した山代老人憩の家「しろやま荘」に、毎週花を生けている方がおられます。この方は、久原の石川キサエさん（60歳）で、仕事のかたわら、近所で生花の指導をされており、憩の家の落成以来、日曜ごとに花を生け続けてこられました。山代町の老人クラブからもお礼の意味をこめて感謝状が送られましたが、本人は、「お年寄りの慰めになればと思い、生けるところがあれば生けさせて欲しい、と始めたことであり大袈裟にとられては困ります」と謙遜され、「自分もいずれ仲間に入れてもらうのですから、特別なことではありません」と話されました。今では、日曜日の

朝は迷惑をかけるからと、土曜の夜に、そっと花を生けておられますがたった一人でも花を眺めて喜こんでいただければいいという石川さんの言葉が、心に残りました。



▲しろやま荘で花を生ける石川さん

## 無人駅の清掃を続けて10年

公共施設の美化に取り組む駒鳴老人クラブ

無人駅になった駅舎やホームの清掃を10年以上も続け、利用者や地区の人たちから喜ばれているグループがあります。

や花壇の手入れ、駅舎の清掃などをして少しでも気持ち良く駅を利用してもらおうと頑張っておられます。



▲駅の清掃に励む駒鳴老人クラブの皆さん

このかたたちは大川町の駒鳴老人クラブ（野中政治会長＝56人）の皆さんで、筑肥線駒鳴駅が昭和45年に無人駅となってから毎月1～2回、地区内の神社や納骨堂の清掃とともに取り組んでいるもので、構内の雑草取り

駒鳴地区は市内でも有数の梨どころで、特に、今の時期は袋かけなど猫の手も借りたい忙しさですが、仕事の合い間をぬって、カマやほうきを持って集まり、地区の公共施設美化に努めておられるということです。

皆さんは「清掃の途中で通過する列車の車掌さんやお客さんから『お疲れさん、ご苦労さん』と声をかけられると、ほんとに続けていてよかったと思います。」と話しておられました。



## スポーツシーズン到来



▲国見台陸上競技選手権 (5/3)  
西九州の各県から若い力があつまりました。



▲市長旗争奪高校野球大会が開催 (5/3)  
白球を追って伊万里・有田地区の4校で争われました。

▼早朝ソフト開会式 (5/5)  
市内116チームの参加で盛大に開会式が行われました。



▼宗兄弟を招き陸上教室開催 (5/12)  
国際的ランナーと走れば君も迷ランナー?



## いま伊万里で



▲市内施設めぐり (5/7)  
知っているようで知らないふるさとを訪ねて。写真は九州スミセの工場見学。



▲つつじ祭りに1万人の人出(5/5)  
竹の古場のつつじ祭りは今年も  
家族総出で賑わいました。



▶党祖まつりが開かれる (4/29)  
山ノ寺の党祖祭りで小雨の中を熱心に郷土史に耳を傾ける市民。

# 渭水菖蒲園は10日ごろ満開

ご家族でお出かけください



伊万里川河畔に毎年みごとな花を咲かせてくれる「渭水菖蒲園」のショウブの花が、今年もそろそろつぼみを開きかけています。

この菖蒲園は昭和52年、伊万里川の岩栗橋から約150m上流左岸に造られたもので、大坪町六仙寺の山口一男さん夫妻が丹精こめて育てられており約1,700㎡の園内には100品種



▲ショウブの花と山口さん夫妻(昨年)

約3,000株の肥後ショウブが植えられ、市観光協会を通じて一般に開放されています。

今年は、6月10日前後が見ごろということで最盛期には約2万本のショウブの花が訪れた人の目を楽しませてくれることでしょう。

## 古文書研究会のお知らせ

市郷土研究会は6月13日から毎月第2土曜日に古文書を学ぶ研究会を開きます。

昔の人が残した記録文書について勉強し、ふるさとの歴史と伝統を学び文化財を見直しましょう。

- ▲時間 14時～16時
- ▲場所 中央公民館和室
- ▲費用 200円(テキスト代)
- ※参加希望の方は、市図書館(☎②7105)へ。

## 特設人権相談 行政相談を開設

【特設人権相談】

- ▲日時・場所・担当委員
- 6月11日(木) 10時～15時 東山代公民館 多久島勝次氏
- 6月16日(火) 10時～15時 市役所相談室 菊地俊夫氏
- 6月17日(水) 10時～15時 黒川公民館 古竹福市氏
- 6月25日(木) 10時～15時 波多津公民館 古川美年氏

【行政相談】

- ▲日時 6月10日(水) 10時から15時まで
- ▲場所 市役所第1会議室
- ▲担当 行政相談委員(岩本判三氏、井手敏男氏)
- 佐賀行政監察局職員

## 松尾照一さん(立花町東円)が総理大臣表彰

立花町東円の松尾照一さん(75歳)が、昭和55年の国勢調査で調査員として内閣総理大臣表彰を受けられました。これは、国勢調査4回、農林業センサスなどこれまでの統計調査の実績が認められたものです。

また、表彰記念に大坪公民館への寄付もいただきました。



## 入居者募集

### 雇用促進住宅

黒川町小黒川に建設中の雇用促進住宅入居者を次のとおり募集します。

- ▼募集戸数 80戸(5階建・3棟)
- ▼居室 3DK(6・6・4.5畳)
- ▼家賃 2万2100円(他に共益費2300円が必要)

※入居希望のかたは伊万里公共職業安定所(☎③2131)へ。

### 県営住宅

▼募集住宅と人員  
。脇田・木須・立花・岩栗第2 40名  
。岩栗ヶ丘 1名

▼受付期間 6月1日～6月15日  
(平日 17時まで・土曜日 12時まで)

※申し込み・問い合わせは伊万里土木事務所管理課建築係(☎③4151)へ。

### 積立分譲住宅

県住宅供給公社は来年7月入居予定の積立分譲住宅(立花台2丁目15戸積立期間1年)を次のとおり募集します。

- ▼構造 木造平屋建、および2階建
- ▼予定価格 1405～1724万円
- ▼公庫融資 640万円
- ▼受付期間 6月19日～26日

※申し込み、問い合わせは市役所都市開発課(☎③2111内線346)へ。  
なお、パンフレット(申込用紙付・有償)は6月15日ころから配布予定。

# レツ スポーツ!! 国見台スポーツ教室

## 軟式テニス教室

- ▲対象 市内に居住するかた
- ▲日時 7月5日～7月26日  
(日曜日 9時～12時)  
8月2日～8月23日  
(日曜日 15時～17時)
- ▲会場 国見台庭球場
- ▲人員 40名程度
- ▲参加料 680円(スポーツ傷害保険料)

※参加希望者は6月26日までに事務局(新天町、中山伸二さん ☎③5516 または山代町久原一区、角芳徳さん ☎⑧2750)へお申し込みください。

## 婦人水泳教室

- ▲対象 市内に居住する婦人で泳げないかた
- ▲期 日 7月4日～7月18日  
(毎週土・日曜日)
- ▲時間 土曜日 14時～16時  
日曜日 10時～12時
- ▲会場 国見台プール
- ▲人員 30名程度
- ▲参加料 680円(スポーツ傷害保険料)

※参加希望者は6月24日までに市体育保健課(☎③2111 内線464)へ住所・氏名・年齢・職業・電話番号をご連絡ください。

## 子供用プールは7月21日から

国見台徒渉(子供用)プールは附帯施設工事が行われるため一般への開放は7月21日からになります。

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

### 社会福祉事業費へ

- ◆香典返しを寄付
- 野村スエノ(亡夫正男 山代町立岩)
- 毛利康茂(亡父龍玄 二里町八谷搦)
- 今坂安治(亡姉キセ 立町)
- 庄村清晴(亡母スエ 二里町川東)
- 林 秋雄(亡母スエ 山代町立岩)
- 日浦ユキノ(亡夫久紀 東山代町国見)
- 前田アキヨ(亡母小畑ハル 二里町川東)
- 夏秋正義(亡母マサ 幸善町)

## ありがとう



ご支援ありがとうございました

- 石井 勉(亡父敬次 東山代町天神)
- 原千代子(亡夫博光 大川内町吉田)
- 古賀富男(亡父七次郎 山代町城)
- 井手貞夫(亡父貞輔 松浦町藤川内)
- 本岡勝三(亡長男祐二 栄町)
- 前田正美(亡母キサ 山代町楠久)
- 多久島俊雄(亡父寅次 東山代町長浜)
- 松永タニ(亡弟喜芳 山代町東分)
- 川元賢介(亡母スナ 浜町)
- 松野正剛(亡父直 東山代町長浜)
- 江口義雄(亡母ナカ 松浦町上分)
- 香月芳男(亡養母チヨノ 立花町西戸)
- 松永八千代(亡夫芳男 松島町)
- 友永勝美(亡母モト 脇田町)
- 前田二三四(亡父亀之助 山代町野々頭)
- 武重正夫(亡父善一 二里町大里)
- 吉田敬一郎(亡父満雄 黒川町浦湯)
- 馬場政秋(亡父米助 松浦町金石原)
- ◆篤志寄付
- 五万円 裏千家淡友会(チャリティ茶会)
- の益金を国際障害者年に対して)
- 四、八〇〇円 西野秀雄(東山代町里 愛の一声運動謝金を国際障害者年に対し)
- 一万円 福田 勇(立花町西戸 お見舞返しを社会福祉事業費に)
- 九、六〇〇円 山田比古太(山代町楠久津 愛の一声運動謝金を社会福祉事業費へ)
- 交通遺児救済資金へ
- 一万円 松尾勝馬(黒川町福田)
- ◆教育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付
- 本岡勝三(亡長男祐二 栄町)
- 多久島俊雄(亡父寅次 東山代町長浜)
- 馬場政秋(亡父米助 松浦町金石原)
- 毛利康茂(亡父龍玄 二里町八谷搦 里小へ指定)
- 原千代子(亡夫博光 大川内町吉田 川内小へ指定)
- ◆篤志寄付
- 二〇万円 前田末次(大川内町福野 職記念に大川内小へ指定)
- ◆教育振興奨励基金へ
- 前田正美(亡母キサ 山代町楠久)
- 一万円 中島紘一(新天町六五四)
- ◆明るい町づくり推進資金へ
- 【大坪公民館】
- 古川義則(亡母フサ 大坪町上古賀)
- 五千円 福田 勇(立花町西戸 病氣見舞返し)
- 【大川内公民館】
- 原千代子(亡夫博光 大川内町吉田)
- 【波多津公民館】
- 高森 昇(亡養父勇作 波多津町辻)
- 【南波多公民館】
- 江口久義(亡父久 南波多町井手野)
- 【松浦公民館】
- 井手貞夫(亡父貞輔 松浦町藤川内)
- 【二里公民館】
- 吉富チヨノ(亡夫一義 二里町中田)
- 毛利康茂(亡父龍玄 二里町八谷搦)
- 【東山代公民館】
- 福島久子(亡夫伊東次 東山代町福和)
- ◆市立図書館へ
- ◆香典返しを寄付
- 上戸冴子(亡父西川利一 脇田町)
- ◆図書寄贈
- 弘川京子、前川安子、小柳生子、五洋建設(以上松島町) 丸田還海(黒川町黒塩) 谷川日出夫(脇田町陣内) 榎本みどり、石丸フイ、古川雄雄(以上脇田町) 犬山国博(富士町) 西日本新聞社(二里町江湖辻) ホットトギス会、伊万里市文化連盟

こ ども の ペ ー ジ

うま かしら  
馬ン頭って知ってるかい

少年・少女郷土教室



松浦町桃ノ川に松浦川が大きく曲ったところがあり、その上流から引いた水が下流の川底のパイプを通して向こう岸へ湧き出している用水路があります。

これが馬ン頭かしらと言われるもので、江戸時代のはじめ(1611年)に佐賀藩の成富兵庫なりとみひょうごという人が造ったものです。

なぜ馬ン頭かしらというのでしょうか。そして不思議なことには、一度地下を通った水が、何の力も加えずに上へ押しあがってきます。

では簡単な実験をしてみましょう。透明なビニールホースを用意してください。これをU字型にして一方から水を注いだら、反対側も同じ高さまで水が入ります。これはサイホンの原理といわれるもので、さらに水を注ぐと、水が出てきます。馬ン頭もこの水の圧力を応用したもので、L字型に曲ったところが馬の頭に似ていたことからそう呼



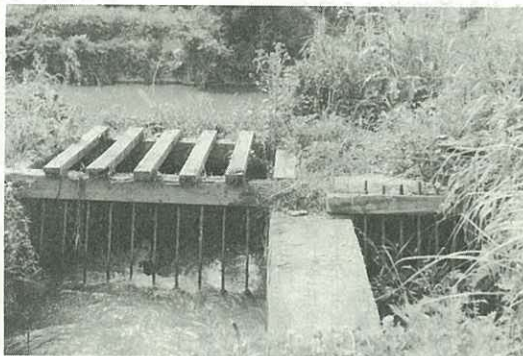
▲ 活発な活動をする古賀子供クラブ(相撲大会)

ばれたのだと言われています。

今から350年も昔に、農業を盛んにするために、こうした土木工事が行われ、今でも立派に役に立っていることには、びっくりさせられます。

成富兵庫は、このほか筑後川の水利工事や有明海の干拓事業など当時を代表する土木技師として有名です。

佐賀の多布施川たふせがわの工事では、象の鼻・天狗の鼻・龍石のおもしろい名



▲ ゴウゴウと水が流れ込む馬ン頭の落し口



サイホンの原理

前をもつものもあり、水の性質を利用したすぐれた工事だと言われております。みなさんも機会があったら、馬ン頭を見てくださいね。

古賀子供クラブが全国表彰

今岳神社清掃などの善行が認められる

大坪町の古賀子供クラブ(会長・中島千春さん=105人)が日本善行会から、子供クラブとしては県内でただ一つ、青少年善行者の表彰を受けました。

日本善行会は「明るく住みよい社会」を作るために善行運動を呼びかけ、毎年全国から善行を行った人や団体を表彰しており、県の推せんで古賀子供クラブが晴れの表

彰を受けたものです。

古賀子供クラブは昭和33年から地区公民館で今岳神社など地区の人たちが集まるところを毎月1回、清掃奉仕したり、自分たち自身の手で5月5日「子供の日」のお祝い会や相撲大会を開くなどの仲間づくり活動が認められました。

また、県内で今回表彰を受けた四つの団体は古賀子供クラブ山代中・滝野中・南波多中とすべて市内の団体でした。